日本キリスト教団 東金教会〔１５〕

2017年４月９日復活前第１(棕櫚の主日)礼拝

年度目標　《神と共に闘う信仰者》

聖　句　しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。　エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	藤田
奏楽	中里
受付	足立
案内	王
名札係	戸波
礼拝感謝祈祷	宮中
〃　〃	岡村

前奏	中里	
讃美歌	９０	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	１５	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	マタイ福音書 27:32～５６	司会者
祈祷	藤田	
新聖歌	３７８	一同
み言葉の伝え	朴	
「茨の冠」		
讃美歌	１４２	一同
献金		
礼拝感謝	宮中	
〃　〃	岡村	
報告	藤田	
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)	朴	
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 4月12日(水)午後7時半
早天祈祷会 月～土7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習 本日礼拝後
定期長老会 本日礼拝後
ＣＳ教師会 本日「定期長老会」後
イースター早天 4月16日(日)午前８時より
聖書輪読会 4月16日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 4月16日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日の礼拝は朴　　先生が講壇を担当されました。
☆本日の棕櫚の主日より４月１５日(土)までは受難週です。特に13日(木)は洗足木曜日と云われ、主イエスが残された弟子達のあるべき姿、即ち、互いに愛し合うべきことが語られたことを覚え，14日は主の受難日として主の十字架の苦しみと死が私の為であったことお覚える日です。
☆４月１４日(金)午後7時半、主イエスの十字架を覚える受難日祈祷会を持ちます。お覚えく下さり、祈祷会に出席下さい。又、当日午後３時からは九十九里教会にて受難日コンサートがあります。尚、水曜日の祈祷会に変更はありません。
☆４月１６日のイースター礼拝は２階会堂で持たれます。
☆４月２４日(月)は千葉支区総会日です。ご加祷下さい。
☆４月３０日の礼拝は小原　先生がご奉仕下さいます。お覚え下さい。
☆ときがね幼稚園は4月１１日(火)が入園式となります。ご加祷下さい。
☆イースター献金、克己献金覚えてお捧げ下さい。
☆次週のイースター礼拝は長老方のご奉仕をお願いします。
☆１階会堂玄関にありますペーパーナプキンの機械とナプキンは宋　　姉の献品です。

【4月2日～4月8日の誕生者】

○土屋　　姉　※おめでとうございます。
主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(4/2)	19	31	50
聖研祈祷会(4/5)	2	4	6
聖書輪読会(4/2)	2	3	5
教会学校(4/2)	12	10	22

早天祈祷会

日	男	女	計
4/3	1	1	2
4/4	1	1	2
4/5	1	1	2
4/6	1	2	3
4/7	1	3	4
4/8	1	2	3

主日礼拝献金(4/2)……32,000円
教会学校献金(4/2)……7,500円

【今日のメッセージ】

題［茨の冠］
聖　書　マタイ福音書２７：３２～５６
1.
2.
3.

【次週(４月16日)礼拝案内】

題　［わたしの父、あなたがたの父］
聖　書　ヨハネ福音書２７:３２～５６
交読文
讃美歌　番　番
新聖歌　番
聖歌隊　「ハレルヤコーラス」

【次週(４月16日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	…	中村征一郎
司式者	…	岡村里
奏楽者	…	中
受付者	…	王
案内者	…	三枝川
名札当番	…	森
礼拝感謝祈祷	…	早乙女
〃　〃	…	藤田
ｃｓお話し	…	土屋
会堂清掃者	…	武田
〃　〃	…	
花係	…	猪野
看板書き	…	土肥

【聖書から】

同様に、「霊」も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、「霊」自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。人の心を見抜く方は、「霊」の思いが何であるかを知っておられます。「霊」は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです。

ローマ書八章二六、二七節

「わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが：」と聖書は言う。しかし本当にそうだろうか。案外わたしたちはそう思ってはいないのではないか。そうではなくて「自分のことは自分が一番よく知っている。だから何を、どう祈るべきかを自分はよく知っている」と言うのがわたしたちではないか。しかしわたしたちの心を掘り下げていったとき、わたしたちの本当の祈り、本当の願いが何かはそんなに自明なことではない。罪にまみれ自らの心を自ら知ることが出来ず、その偽りに気付きすらもできないわたしたちの祈りの煙はそのままではわたしたちの傲慢、偽善、神ではなく人を恐れる心、屈することのできないプライド、そういった諸々の不純物がわたしたちの祈りを妨げ、正しく神に向かわせないようにしていることを思うのである。しかしそのような障害物に妨げられつつも、その奥底には、わたしたちの神に向けられた正しい心はある。そしてそれを探り出し、その祈りを父なる神に橋渡しするお方それが聖霊なる神の役割である。「霊」自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださる」と聖書は語る。神にむかって「うめく」ほかない わたしたちの心、罪の故に正しく言葉をもって伝えることのできないわたしたちの「うめきの祈り」を聖霊なる神は正しく父なる神に伝えてくださる。呻きの底にある祈りを汲み取ってくださる。だからわたしたちは罪ある祈り、神の御許に届かない祈りを大胆に捧げることが出来るのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。